



食を通じ世代間交流を

菊陽町老人クラブ連合会運営の食堂オープン

1月から老人福祉センター内に食堂「おむすびや」がオープンしました。「おむすびや」は、子どもからお年寄りまで誰でも利用でき、ランチや総菜、お弁当を販売しています。自家製みそで作ったみそ汁が自慢です。

食堂の名前の由来でもある「皆さんのご縁をむすぶ」をモットーに、菊陽町老人クラブ連合会では地域交流に努めています。今後も人と人を結び、世代間交流事業の開催を予定しています。



老人福祉センター1階に開設した「おむすびや」

人手不足時代の経営のあり方を学ぶ

菊陽町企業・事業者交流促進研修会

菊陽町企業・事業者交流促進研修会を1月31日、グランヴェールアベニュー熊本で開催しました。

(株)ヒューマンリソース・デベロップメント代表取締役の清永誠さんが「人手不足時代の経営のあり方について考える～今、中小企業は如何に人材確保と人材育成を考えるべきか～」と題し講演。「経営者は人の上に立つのではなく、先頭に立って会社を引っ張っていくことが大切」と話し、参加者はメモを取りながら真剣に聞き入っていました。



「経営者は社員をもっと知りましょう」と話す清永さん

さまざまな文化に触れる

菊池郡子ども会大会

菊池郡子ども会大会が2月4日、菊陽町図書館ホールで開催されました。

菊陽町・大津町の子ども会員や地域住民など約200人が参加。菊陽武蔵剣豪太鼓による演奏と菊陽町出身の落語家桂竹もんさんの落語会が行われました。落語の歴史などを織り交ぜた軽快な落語に、普段なじみの薄い子どもたちからも笑いが溢れました。

参加した志賀更紗さん(沖野)は「すごく楽しかった。また参加したいです」と話しました。



軽快な口調で話す桂竹もんさん

時代に合った農業を

平成29年度熊本県農業コンクール大会

平成29年度(第58回)熊本県農業コンクール大会表彰式が1月26日、熊本テルサで開催されました。

本町からは菊池地域の予選を突破した(株)まゆみ農園(眞弓恵理子代表)が菊池地域代表として本選に出場。将来目標や積極性、経営・技術の改善に向けた工夫、情勢や消費者ニーズに合った農業であるかなどの審査を受け、各地域から選ばれた11経営体の中から見事優良賞、特別賞、女性の活躍賞を受賞しました。今後ますますの活躍が期待されます。



3つの賞を受賞した眞弓恵理子さん(右)

おさかな上手にさばけたよ

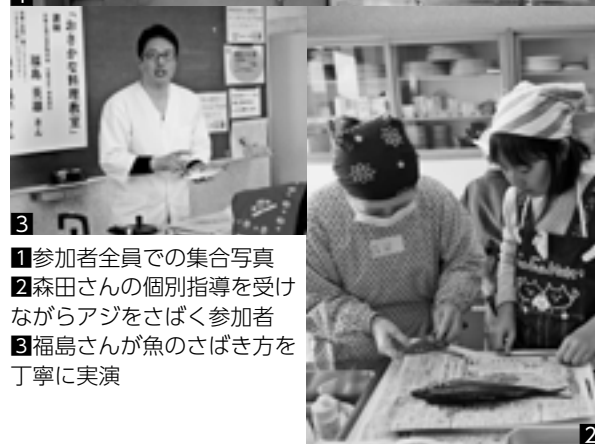
主催講座「おさかな料理教室」

生涯学習課主催講座「おさかな料理教室」を1月27日、三里木町民センターで開催しました。

田崎市場内海産物仲卸の福島英雄さんと栄養と料理1級インストラクターの森田昌子さんを講師に迎え、子どもや保護者など24人が参加。この日は「海鮮手巻きおにぎり・アジのムニエル・貝汁」の作り方を学びました。

材料は熊本県魚食普及推進協議会から無償提供された新鮮な食材を使用。最初に魚を3枚におろす方法を学び、講師の指導を受けながらそれぞれがアジをさばいて刺身やムニエルを調理。作った料理を参加者全員で実食しました。

参加者からは「初めての経験だったけれど上手に魚をさばけて良かったです」、「講座で新しい友だちもできて、自分で料理を作って食べることができて楽しかった」、「魚のおろし方は今更と思われそうで恥ずかしくて人には聞けませんでした。親子で魚が大好きなのでとても勉強になりました」などの感想が寄せられました。



1 参加者全員での集合写真
2 森田さんの個別指導を受けながらアジをさばく参加者
3 福島さんが魚のさばき方を丁寧に実演

分かち合う子育て

よかつれフェスタ2018

「よかつれフェスタ2018～女と男で築くいきいき菊陽～」を1月27日、図書館ホールで開催しました。

オープニングとして全町立保育所の年長児130人が「きらきら星」を日本語、英語、中国語の3カ国語で歌ってスタート。続いて「虹」を一部手話を交えて歌うなど、すてきな笑顔で会場中に和やかな雰囲気を作り出して来場者を楽しませました。

今回で3回目となる、「イクメン・カジダンフォトコンテスト」では、育児を頑張るパパやおじいちゃんを表彰。26点の応募作品の中から、日高幸代さん(光5町内)の「嫁が不調の夕暮れに」がグランプリを受賞しました。

講演会では、子育てを応援する2人組「こそだてがかり」の荒木直美さんと桜田幸子さんが「ママの笑顔が家庭平和の鍵。パパも無理をしない範囲で育児ができるようお互い話し合うことが大切です」と話しました。参加者からは「共感する部分がたくさんあり、具体的でとても分かりやすかった」との感想がありました。



1 こそだてがかりの2人による軽快なトーク
2 インタビューを受けるグランプリ受賞者
3 町立保育所の年長児による「きらきら星」



チューバで奏でる故郷の息吹

第7回みんなできくよう♪コンサート

「第7回みんなできくよう♪コンサート」を1月20日、図書館ホールで開催しました。

このコンサートは(一財)地域創造の助成を受けて、菊陽町図書館ホールの自主文化事業として実施。コンサートには、チューバ演奏家の喜名雅さんとピアニストの鈴木真貴子さんが出演し、チューバの暖かい音色で参加した250人の観客を魅了しました。菊陽中学校合唱部との共演もあり、会場に美しい音色を奏でました。



心地良い音色がホールいっぱいに響き渡りました

熊本県知事表彰受賞

くまもと農山漁村フォーラム

くまもと農山漁村フォーラムが2月1日、熊本テルサで行われました。

この会は女性のさらなる活躍と農林水産業の活性化が目的。約350人が出席し、熊本県農山漁村女性活躍表彰や優良事例の発表が行われ、那須眞理子さん(鉄砲小路)が熊本県知事表彰を受賞しました。

那須さんは「お互いの性を理解し、切磋琢磨して住み良い社会をつくっていきけるようこれからも気負わずに頑張っていきたい」と話しました。



受賞した那須眞理子さん(前列左から2人目)

想像の翼を広げよう！

パントマイム劇「ジャーニーと本の扉」

パントマイム劇「ジャーニーと本の扉」が1月28日、図書館ホールで行われました。

この劇は、パントマイミストの金子しんぺいさん演じるジャーニーが本の中の世界に入り込んでしまうというもの。

劇中にせりふは一言もなく、ピアノの演奏に合わせて体の動きと顔の表情だけで物語を表現。参加した親子連れなど約200人がせりふを想像しながら物語の世界を楽しみました。



パントマイムで物語を表現する金子しんぺいさん

菊陽町図書館「人形劇ぶっくる」

熊日緑のリボン賞を受賞

菊陽町図書館を拠点に活動する「人形劇ぶっくる」(渡邊とし子代表)が1月6日、第116回熊日緑のリボン賞を受賞しました。

この賞は、県内で長年社会奉仕や環境美化などの活動に取り組んできた個人や団体に贈られるもので、熊本日日新聞社本社で開催された贈呈式には、メンバーが手作りの人形を持参して出席。渡邊代表は「15年間の活動を高く評価していただきました。受賞を励みにこれからも頑張ります」と話しました。



贈呈式に出席した「人形劇ぶっくる」の皆さん